人物調査の総まとめを NAVERまとめでまとめさせてみた

神藤　健朗（かんどう　たけあき）
t-kando@tcu-jsh.ed.jp

東京都市大学
付属中学校･高等学校

本校の概要

- **東京都市大学付属中学校・高等学校**
  - ◆高校は1951年・中学校は1956年に開設
  - ◆2009年4月より
    武蔵工業大学付属中学校・高等学校から校名変更
- **東京都世田谷区にある私立中高一貫男子校**
  - ◆小田急線・成城学園前駅より徒歩１０分
- **６学年×６クラス（40名/クラス）**
  - ◆2007年4月より6カ年一貫教育体制を導入
- **ほぼすべての生徒が大学進学希望**
  - ◆約５～６割の生徒が理系選択

情報科　科目構成

中学２年	情報（技術家庭科） 週１時間　実施	学校行事と関連付けながら、コンピュータによる情報表現方法を学習する。
高校１年	情報の科学 週２時間　実施	各種コンクールへの参加を通して、将来必要になる情報技術の習得を目指す。
高校２年 （文系）	情報デザイン（必履修） 週１時間　実施	さまざまな情報表現方法の習得を目指す。
高校３年 （文系・理系）	社会と情報（選択） 週２時間　実施	情報技術に関する理解を深める。

「情報デザイン」を実施するにあたり

■ 著名人の生き方から学ぶ

- ◆理系に向いていないから…という文系選択者が多い
  - □著名人の人生を学び、進路を考えるきっかけにして欲しい
- ◆視野を広げるきっかけを作る
  - □世界に目を向けて、広い視野を持って欲しい
    （海外の文献にもあたって欲しい）

■ 情報をいかに整理しデザインするか

- ◆本当に伝えたいことは何か考える
  - □手段(発表・チラシ・リーフレット等)によって内容が変わる
- ◆デザインの手法について理解する

TWICE PLANとは？

TWICE PLAN LIFE 01

“人間ドキュメンタリー”ワーク

「そう、こんな人生もあるんだ」
——ロールモデルの人生を描く“人間ドキュメンタリー”制作

さまざまな分野で活躍した人の人生を題材に、「人間ドキュメンタリー」をつくるワークです。

チームで協力してそれぞれの主人公の歩みをたどり、リサーチとディスカッションを積み重ねながら作品を制作します。

【身につく力】
進路意識の向上、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力

TWICE PLAN COMPANY 01

“企業インターン”ワーク

「もしも企業に勤めたら！？」
——日本を代表する企業に学ぶ“企業インターン”体験

日本を代表する企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワークです。

全国の学校の教室と企業をインターネットやビデオ会議でつなぎ、会社の一員として課題解決に取り組みます。

【身につく力】
職業理解、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、進路意識の向上

TWICE PLAN 論文WORK

“論文”ワーク

「こころを使って論文を書こう」
——書いても読んでも楽しい不思議な“論文執筆”体験

表現する意欲を大切にしながら、論理的、客観的に文章を書くためのワークです。

“自分の好きなもの（こと）”をテーマに、チームメイトとコミュニケーションを繰り返しながら、魅力的な論文を執筆します。

【身につく力】
文章作成力、自己表現力、コミュニケーション力、チームワーク力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力

TWICE PLAN LIFE 02

“自分史”ワーク

「世界にひとつだけの自分物語」
——自分自身の人生の軌跡をつづる“自分史”制作

自分自身を題材に、過去から未来につながる自分史づくりに取り組むワークです。

年表作成やリサーチ、周囲への取材と考察、自己対話をもとに、過去から未来につながる自分史を制作します。

【身につく力】
自己表現力、文章作成力、進路意識の向上、コミュニケーション力、チームワーク力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力

TWICE PLAN Webページ：　http://twiceplan.jp/

東京都市大学
付属中学校・高等学校

高２「情報デザイン」カリキュラム

人間ドキュメンタリーの作成（計28時間）

一学期	[グループ]人間ドキュメンタリー予告編作成	誰もが興味を示すような予告編（２分）の作成
	[個人]人間ドキュメンタリーのチラシ作成	興味・関心を引くようなチラシを作成する。作成後、「伝わるデザインの基本」を参考にチラシの修正を行い変化を比較する。
二学期	[グループ]人間ドキュメンタリー本編作成	「広く浅く・狭く深く」徹底的に調べ本編（１０分）を作成！何を伝えたいか考え、構成を練ること！
三学期	[個人]人物に関するキュレーションサイトの作成	１学期から２学期にかけて調べた内容を元に、その人物に関するまとめサイト（キュレーションサイト）を作成する。

なぜキュレーションか？

- **普段の生活の中で生徒は活用している**
  - 自分で記事を作る立場になると見方が変わる
    - 商用サイトで記事を公開し、リスクを含め考えさせる
  - NAVERまとめを利用する
    - ブラウザベースで作成が容易
- **複数の出典を整理・統合する力の育成**
  - 様々なWebサイトや書籍を参考に調査
    - 1学期から2学期にかけて調査を実施
  - 様々な切り口で記事を作成
    - 同じ資料でも整理・統合の仕方で切り口が変わる

授業の流れ

東京都市大学
付属中学校・高等学校

授業スケジュール

- 1/16 [月]　キュレーションについて調査①
- 1/23 [月]　キュレーションについて調査②
  サイト作成時の注意点について
- 1/30 [月]　キュレーションサイト作成①
- 2/13 [月]　キュレーションサイト作成②
- 2/20 [月]　キュレーションサイト作成③
- 2/27 [月]　相互評価

今日の課題（個人課題）次回完成

- **キュレーションサイトについて、以下のポイントに絞って中学生でもわかるように説明するためのスライドを作成する**
  - キュレーションとは何か？
  - 代表的なキュレーションサイトは？
  - キュレーションの問題点は？
  - キュレーションサイトを作成するにあたって注意すべき点は？
- **提出方法**
  - PowerPointを使用してスライドを作成
  - ドキュメントの中に「**キュレーション**」というファイル名で保存

授業スケジュール

- 1/16 [月]　キュレーションについて調査①
- 1/23 [月]　キュレーションについて調査②
  サイト作成時の注意点について
- 1/30 [月]　キュレーションサイト作成①
- 2/13 [月]　キュレーションサイト作成②
- 2/20 [月]　キュレーションサイト作成③
- 2/27 [月]　相互評価

作成作業

- 画面右上にある「ログイン」をクリック
- 画面右上にある「まとめ作成」をクリック

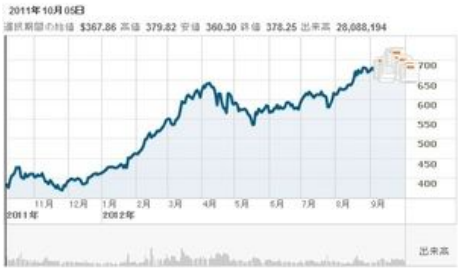
- タイトルと概要説明文を入力
  - 「オプション項目」をクリックすると概要説明文の入力が可能になる

【1周忌】スティーブ・ジョブズが逝去して変わった5つのこと

2011年10月5日。Appleのカリスマ経営者、スティーブ・ジョブズ（Steve
れからはや一年、Appleは何か変わったのでしょうか？ 更新日：2014年09

picopicohummerさん B! 0 いいね！ 0 ツイート

1.株価の上昇及び配当の開始



株価は1.8倍に

ジョブズが亡くなった2011年1
378.25ドルだったが、
2012年10月4日の終値は666.9
なった。
また、iPhone5予約開始直後の9
値も記録。
なお、それは後述するコスト管
売上増加が起因してます。

“アップル、17年ぶりの株式配当金の支払いを実施へ

出典 アップル、17年ぶりの株式配当金の支払いを実施へ （Computerworld） - Yahoo!ニュース

2012年8月には17年ぶりに配当金の支払いを実施しており、今後も4半期ごと
通しとなっている。

A

B

C

2.徹底したコスト管理

現CEOのティム・クックはCOO時代からApple製品の在庫を完璧に管理し、低コスト経営を推し進めてきた人物である。
また、ロン・ジョンソンという、アップルストアを立ち上げ、ある程度の経費は
れだけ素晴らしい体験を与えるかに注力してきた人物が去り、後任となったジョ
顧客体験よりコストを重視した考えを持っている。

**“Cook氏がCEOに就任して以来、Appleは効率的なコス
品質の製品供給を確実なものにするために、「より厳しい
ト」を同社のサプライチェーンに課しているという。**

出典 CNETOPI - アップルのクックCEO、サプライチェーンの管理を強化か - CNET Japan

関連まとめ

【スティー

アイテムを追加 リンク 画像 動画 引用 Twitter テキスト 見出し

* 見出しを入力

保存 キャンセル

アイテムを追加 リンク 画像 動画 引用 Twitter テキスト 見出し

* 引用を入力

A

引用の出典元URLを入力(ウェブページの場合)

B

引用の紹介コメントを入力

C 必ず入力してください！

保存 キャンセル

アイテムを追加 リンク 画像 動画 引用 Twitter テキスト 見出し

* テキストを入力

保存 キャンセル

授業スケジュール

- 1/16 [月]　キュレーションについて調査①
- 1/23 [月]　キュレーションについて調査②
  サイト作成時の注意点について
- 1/30 [月]　キュレーションサイト作成①
- 2/13 [月]　キュレーションサイト作成②
- 2/20 [月]　キュレーションサイト作成③
- 2/27 [月]　相互評価

今日やるべきこと

■相互評価シートへの記入

- ◆作品に振られた番号の記入を忘れないこと
- ◆３つの作品について、どのような点に興味を持ったか具体的に記入すること

■キュレーションサイトの評価について

- ◆3月9日(木)以降に評価を行います。
  - □つまり、試験後授業の２日目以降に評価を行います。
  - □それまでは修正可能です。
- ◆自分の作成したサイトの報告がまだの人は、先週実施したアンケートを修正し、報告してください。
  - □未報告の場合は評価できません。

結果

東京都市大学
付属中学校･高等学校

画像：株式会社ユーザーローカル テキストマイニングツールを使用して、生徒が記入した「この取り組みの是非について具体的に記入してください。」の自由記述を分析。
https://textmining.userlocal.jp/

この取り組みの是非について 1/4

- このサイトを作るにあったって他のnaverまとめのサイトを見てみたが、引用が多く、引用したのに何もコメントをつけていないものが大多数を占めていた。そういう意味で引用コメントの必然性や画像の盗用の禁止など**悪い面を理解するには良かった**。
- キュレーションサイトの情報を公式で正式な情報と思って鵜呑みにしている人は多いと思う。しかし、この授業を通して、**自分でも簡単に作れることを知り、情報が正確とは限らない、素人でも作れるものだ**とわかり、勉強になったのでいい授業だったと思う。
- smartnewsなど、社会性のあるサイトでの作成も勉強になってよいかと思う。naverまとめは有名なサイトだが、信憑性への疑問が多く上がるサイトなので、自分たちの作ったキュレーションも同じように思われるのかと思うと少し悲しくなる。

この取り組みの是非について 2/4

- 大変面白かった。普段パソコン等に触れない生徒は、こういったサービスのアカウント作成をしたことない人も多いと思うので、とてもためになると思う。ただ、完全に全世界に公開されてしまうので、**悪意ある者が生徒の作品を発見し(あるいはクラスメイト・自分のを)拡散し、炎上とまではならないと思いますが、悪い方向に行く可能性も否定できない点が課題**と存じます。
- 今回初めてキュレーションサイトを作成してみて感じたことがあり、それは自分が作ったサイトが言うなれば**世界中の人に見られるということに対してのすこしの恐怖を感じた**。自分のサイトがいろんな人に見られて、そしてこのサイトについてのなにかしらの感想を持たれる。それがよくないという感想だった場合大げさだとは思うが自分がたたかれたりネットにさらされる可能性がゼロではないということだと思った。**今後同じようにサイトだったりＳＮＳに何かを投稿するときはしっかりとそれが大丈夫な内容かしっかりと見極めなければいけないと思った。**

この取り組みの是非について 3/4

- NEVERまとめは今まで見ているだけだったが今回作ってみて感じたのが、意外と作るのは手間がかかるということだった。だが、普段からあまりパソコンを使うことのない自分でも簡単に入力しやすく、またマニュアルはとても役にたった。**何かを作るということは自分に責任が生じることなので、著作権などには注意した**。普通のことでは気にかけないことを意識しながら作ったので、いい体験になった。また、達成感をとても感じた。
- 実際にサイトを作り、**公開することの緊張感を知った**。普段何気なく使っているSNSも同等のものであり、責任感を再確認した。
- 素晴らしい取り組みだと思いますなぜならば、今の時代は情報リテラシーが必要だと話題になったりするので、**情報の取捨選択の精度を上げるためにも、見る立場だけではなく、実際にまとめを作成するという立場に立って物を見れたことは新たな学びになった**。改めて、この授業を通じてインターネットの情報の信憑性の無さや、**適当に他のサイトから引っ張ることで簡単にサイトができることが分かった**。今後、さらにインターネットの情報に対して注意して見るべきだと思いました

この取り組みの是非について 4/4

- 今まで見る側としてしか使用してこなかった有名なキュレーションサイトに、実際に自分で作成して公開するという作る立場になったことで普段何気なく目にしているサイトを作成する人がいろいろなことに気をつけながら作り上げられているのだと実感し、**教科書で著作権についてみるよりも実際に作業しながら学ぶことができたのでとてもよい体験になったと**思います。
- 自分はよく調べ物をする際にNAVERまとめを使用する。なぜかといえば多くの情報が簡潔にまとまっており、とても情報収集に便利だからだ。なので、情報の授業でNAVERまとめを作成する体験ができたことは、**作成のプロセスから客観的に情報の真偽を見極める能力をつけることができた**ので、とても実りのあるものだったと思う。

まとめ

東京都市大学
付属中学校･高等学校

まとめ

- **校内ネットワークの問題で接続に時間がかかった**
  - i-FILTERのセッション数が不足していたことが原因
    - 現在は設定を変更し、正常に通信できる状態に回復
- **作成時間が短かった**
  - ネットワークトラブルもあり3時間では短かった
    - 今年度は作成時間を4時間にして実施する予定
- **緊張感をもって生徒は作業を行っていた**
  - 著作権への配慮や、情報の信憑性への配慮など
  - リアルな世界に発信することの重みを実感
- **公開前の相互チェックする仕組み**
  - 公開するためのチェックリストを作成し、他の生徒にチェックしてもらったうえで公開という流れが必要

まとめ

「情報社会に参画する態度」を育成することが情報教育の目的の一つですが、**リアルな世界に情報発信させなくていいのでしょうか？**

- **緊張感をもって生徒は作業を行っていた**
  - ◆著作権への配慮や、情報の信憑性への配慮など
  - ◆リアルな世界に発信することの重みを実感
- **公開前の相互チェックする仕組み**
  - ◆公開するためのチェックリストを作成し、他の生徒にチェックしてもらったうえで公開という流れが必要